

## 物質工学系

|            |             |                    |                      |                    |                  |                      |  |
|------------|-------------|--------------------|----------------------|--------------------|------------------|----------------------|--|
| 教員数        | 教員等数<br>(人) | 教 授<br>14<br>( 17) | 助 教 授<br>13<br>( 11) | 講 師<br>12<br>( 12) | 助 手<br>3<br>( 5) | 技 官〔準研〕<br>—<br>( —) |  |
|            | 異動状況<br>(人) | 退職・転出<br>1<br>( 6) | 昇 任<br>3<br>( 3)     | 採 用<br>2<br>( 4)   | 学 内<br>—<br>( —) |                      |  |
| 研究活動       | 研究発表<br>(件) | 論文・著書発表数           |                      | 学 会 発 表 数          |                  |                      |  |
|            |             | 国 内                | 国 外                  | 国 内                | 国 外              |                      |  |
|            |             | 55 ( 60)           | 191 (196)            | 292 (222)          | 89 ( 68)         |                      |  |
|            | 受賞数(件)      | 2 ( 5)             |                      |                    |                  |                      |  |
|            | 研究費等        |                    | 採 択 件 数              | 採 択 率 (%)          | 金 額 (千円)         |                      |  |
|            |             | 科学研究費              | 28 ( 24)             | 77.8 (68.6)        | 79,400 (120,100) |                      |  |
|            |             | 学内プロ               | 19 ( 13)             | 54.3 (36.1)        | 8,500 ( 7,200)   |                      |  |
| 奨学寄附金件数・金額 |             | 14件                | 10,600千円             | ( 18件              | 19,350千円)        |                      |  |
| 受託研究件数・金額  |             | 11件                | 57,805千円             | ( 10件              | 66,091千円)        |                      |  |
|            | 受 託 研 究 員   | 1人 ( 人)            |                      |                    |                  |                      |  |
| 施設・設備      |             |                    |                      |                    |                  |                      |  |

・ ( ) は前年度の数値を示す。

### 1 物質工学系の活動

平成15年度においても、物質工学系の研究活動は活発に行われた。研究発表については、従来から高いレベルにあると評価されてきたが、発表論文数及び学会発表数とも従来の高いレベルを維持しており、国際会議招待講演数および受賞件数も高いレベルを維持している。加えて、特許出願件数が増大している。また、当学系が担当している大学院数理物質科学研究科物性・分子工学専攻を中核専攻とする21世紀COEプログラム「未来型機能を創出する学際物質科学の推進」(平成14年度採択)は平成15年度においても活発な教育研究活動を推進しており、数次に及ぶ研究会ならびに国際シンポジウムを開催した。さらに、当学系が中心的役割を果たして準備を進めてきた「学際物質科学研究センター」(白川センター)が平成15年度に新設され、活発に活動を開始した。関連して、同研究センターでは白川英樹名誉教授、A. J. Heeger教授、A. MacDairmid教授、江崎玲於奈前学長の4名のノーベル賞受賞者を招いて、国際シンポジウムを開催した。

研究費等の外部からの導入状況については、全般的には活発に行われている。受託研究件数ならびに受託研究金額は増額し、研究の大型化が一層進んだ。奨学寄付金は件数・金額共に順調な伸びを示した。科学研究費は、平成15年度は継続課題が比較的多いことから新規の採択件数ならびに採択金額は平成14年度と比べてやや減じたが、次年度に向けての申請に一層の努力を払った。

人事については、例年通りかなりの数の転出・転入教官がおり、人事の流動性の高さを示している。また、採用人事については新規分野の開拓を視野に入れた活発な議論がなされ、公募により複数の新任教官の採用を行った。着任教官は研究の立ち上げを進めており、新分野開拓の意気に燃えている。また、学系教官については定期的に業績評価を進めており、優れた業績を挙げている教官の昇任人事を行うと共に、次年度に向けての新任教官公募も進めており、優れた人材の採用および登用を図っている。なお、人事に関しては、学系再編に伴い物理工学系・物質工学系合同人事協議会を設置して両学系間の調整を協議している。

法人化対応については、筑波大学将来設計検討委員会、数理物質科学研究科、理工学研究科、工学基礎学類および関連研究支援センター・研究センターの関連事項について、運営委員会、教員会議および教員懇談会等により積極的に意見交換を行い、各組織レベルでの対応を図った。

### 2 自己評価と課題

研究活動全般については、平成15年度も従来からの高いレベルを十分に維持している。人事を含む管理運営については活発な議論が行われており、教育研究活動の高度化への努力が機能していると言える。外部資金獲得は比較的順調であったが、委任経理金や間接経費の補填がある大型外部資金の獲得がやや低調であったことは、改善すべき主要な課題として各教官の一層の努力が必要である。

### 3 その他特記事項

当学系が連携の一翼を担っている数理物質科学研究科の新連携専攻「物質・材料工学専攻」が独立行政法人物質・材料研究機構との連携により平成16年度に新設の運びとなった。つくば地区の研究機関の有機的連携による教育研究活動の一層の充実へ向けての重要な取り組みであり、特筆すべきことである。